

階段用作業台 SG エクレスの始業前点検 必ず安全確認をしてからご使用ください。

階段での作業時は必ず補助手すりを装着してご使用ください。

ロック確認

- ・妻部墜落ストッパーが確実にロックされているか？
- ・主脚開閉ストッパーが確実にロックされているか？
- ・伸縮脚ストッパーが確実にロックされているか？
- ・開き止めストッパーが確実にロックされているか？

設置後の確認

- ・天板面が水平になっているか？
- ・滑り止め端具が階段の踏み面の中央にしっかりと接地しているか？

異常の確認

- ・妻部墜落ストッパーに曲がり・亀裂はないか？
- ・天板に曲がり・亀裂はないか？
- ・主脚に曲がり・亀裂はないか？
- ・踏みさんに曲がり・亀裂はないか？
- ・伸縮脚に曲がり・亀裂はないか？

SG エクレス安全措置

- ・開口部廻り・吹抜床端部での作業は、安全帯の使用及び垂直又は水平養生設備等によるダブルセーフティを実施する。

SG エクレス禁止事項

- ・二人乗りはしない。
- ・不安定な場所で使わない。
- ・背を向けて降りない飛び降りない。
- ・乗り出して作業をしない。
- ・荷物を持って昇降しない。
- ・天板の上に台を載せて使わない。

最大使用質量 150kg

- 体重と積荷の合計重量が、最大使用荷重を超えて使用しないこと。
- 同時に2人以上乗らないこと。

危険

- 設置するときや持ち運ぶときは、配電線に注意すること。
- 感電注意。

警告

- 手を挟まないように注意。

SG エクレス 組立方法

- ①天板を下にして置く。
- ②脚開閉ストッパーピンを解除し、下段側開閉ユニットを開く。*ストッパーが確実にロックされているか確認してください。
- ③脚開閉ストッパーピンを解除し、上段側主脚ユニットを開く。*ストッパーが確実にロックされているか確認してください。
- ④開き止めストッパーをセットする。
- ⑤本体を起こす。
- ⑥伸縮脚ストッパーのレバーを引いて左右の伸縮脚をき出し、高さ調整をする。
*天板が水平になるようにする。*レバーのロックを確認する。
- ⑦昇降面から妻部墜落ストッパーを手前に引き、上方に回転させて起こす。*ロックピンが上溝に収まったことを確認する。
- ⑧補助手すりを取り付け、組立・設置完了。

警告

- 単体で使用してください。
- 4箇所の伸縮脚ストッパーピンは常にロックしてください。
- 作業箇所に可能な限り近接したところに設置してください。
- 150kg を超えて載せないでください。
- 昇降は、ストッパーピンのロックを確認した後行ってください。
- 工具等を持った状態で昇降しないでください。
- 荷の受け渡しは昇降面側より無理の無い安定した姿勢で行ってください。
- 踏みさん上で作業をしないでください。
- 夜間又は暗い箇所等では、必要な照度を保持してください。
- 持ち運ぶときは、引きずったり、投げたりする等乱暴に扱わないでください。
- 製品の曲がり、変形等の原因になりうるような重量物を製品の上に載せて保管しないでください。
- 背面降りしないでください。
- 天板の上で爪先立ちしないでください。
- 開き止め用ストッパーピンのロックを確認してください。
- 手をはさまないように注意してください。
- 次のような場所には、設置しないでください。
 - ① 傾斜している場所。
 - ② 天板が水平にならない場所。
 - ③ 段差や凹凸等により可搬式作業台が安定しない場所。
 - ④ 不意の移動、沈下等のおそれのある場所。
 - ⑤ 人や物の出入口やドアの前等、専ら通路として使用される場所。
 - ⑥ 足元や周囲がはっきり見えない暗がりの場所。
- 階段での作業時は、必ず補助手すりを装着して使用してください。
- 改造しないでください。

注意

- 使用する前に各部を点検し、異常のないことを確認してください。
- 各部に曲がり、損傷、腐食等の異常のあるものは使用しないでください。

危険

- 感電注意。

禁止事項

- 天板から身体を乗り出さないでください。
- 同時に2名以上の者が乗らないでください。
- 片足立ちや爪先立ちをしないでください。
- 脚の下に物を挟まないでください。